

取扱説明書

吹管用 逆火・逆流防止機構付流体継手



日酸TANAKA株式会社

⚠ 警告

- ❶ 本取扱説明書を必ずお読みください。本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながるおそれがあります。
- ❷ 当製品は手動ガス切断器、溶接器および加熱器に取り付けて使用する専用の逆火・逆流防止機構付流体継手です。火災等が発生するおそれがあるため、それ以外の用途には使用しないでください。
- ❸ 当製品は逆火防止機構および逆流防止機構は有していますが、遮断機構は有していないため、乾式安全器ではありません。火災等が発生するおそれがあるため、圧力調整器等、本来乾式安全器を取り付けるべき場所には、当製品ではなく必ず乾式安全器を取り付けてください。

重要

- ❶ 本取扱説明書は、常に製品のそばに置いていつでも読めるようにしてください。
- ❷ 本取扱説明書以外に、ご使用になる調整器、溶接器、切断器及び加熱器、火口の取扱説明書も合わせてお読みください。

1. はじめに

本取扱説明書は、「吹管用 逆火・逆流防止機構付流体継手 N コック Jack」を安全にご使用していただくための説明書です。

当製品は、吹管に使用するゴムホースをワンタッチで接続する継手で、逆火・逆流防止機能が内蔵されています。

本取扱説明書では当製品を安全にご使用いただくために安全についての表示を次のように使い分けております。

⚠ 危険：死亡、重傷又は重大な物的損害を招く差し迫った危険があるリスクに用いています。

⚠ 警告：死亡、重傷又は重大な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクに用いています。

⚠ 注意：軽傷又は軽微な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクに用いています。

重要：使用上又は取扱上の安全性以外の注意事項、留意点等を示しています。

❶ 強制：機器を取り扱う上での使用上又は安全性に対して「しなければならないこと」を表記しています。

❷ 禁止：機器を取り扱う上での使用上又は安全性に対して「してはいけないこと」を表記しています。

2. 安全に使用していただくために

⚠ 警告

- ⓪ 損傷していたり、ガス漏れの疑いがある機器を使用しないでください。ガスが漏れている場合引火し火傷を負うことがあります。
- ⓪ 接続部からガス漏れが確認された場合、使用しないでください。接続部がガス漏れの状態のまま使用しますと、引火、逆火、火災等、重大な人身事故が起こることがあります。
- ❶ 使用ガスが当製品のガス仕様と一致しているか確認してから使用してください。仕様以外のガスをご使用の場合は弊社へご確認下さい。仕様以外のガス又は弊社にて使用不可と判断された混合ガスを使用した場合、逆火防止機能、逆流防止機能など、本来保有している機能が正常に働かなくなり火傷や火災が発生するおそれがあります。
- ❶ 当製品は必ずソケットに接続して使用してください。誤った取り付けの状態で使用すると外傷、火傷、火災等の発生のおそれがあります。
- ❶ 当製品を取り付ける前に、取付部の埃、ゴミ、水分等を除去してください。逆流防止機能が作動しなくなり、火傷や火災等が発生するおそれがあります。
- ⓪ 当製品を吹管に取り付ける際は、「6. 仕様」に示す最大締付トルクを超えて取り付けしないでください。破損のおそれがあります。
- ⓪ 他社の継手と接続しないでください。ガス漏れが発生し、火傷を負うおそれがあります。
- ⓪ 最高使用圧力を超えて使用しないでください。逆火時に火炎の逸走を防げず機器の破損や火災が発生するおそれがあります。
- ❶ 当製品は遮断機能を有していないため、逆火を起こした状態で放置すると繰り返し逆火を起こし、重大な事故が起きるおそれがあります。逆火が発生した場合は、吹管、圧力調整器および容器のバルブをすみやかに閉じ、逆火の原因を究明してください。
- ⓪ 油およびグリスを使用しないでください。使用すると爆発、着火や火災の危険性があります。
- ❶ 使用温度範囲内で使用してください。使用温度範囲外で使用した場合、パッキン類が変形しガス漏れの危険性があります。
- ❶ 安全および精度維持のために保守点検を必ず行ってください。保守点検を怠りますと正常な機能を維持できなくなり、重大な人身事故や火災が起こることがあります。異常が発見された場合は直ちに弊社に修理を依頼するか、使用を中止して新品に交換してください。
- ⓪ 当製品の分解修理・改造は行わないでください。逆火防止機能を損なうばかりでなく、ガス漏れにより重大な事故の発生原因となります。

⚠ 注意

- ❶ 気密の確認には漏れ検知液を使用してください。裸火による点火での気密確認は火傷を負うおそれがあります。

3. 操 作

(1) 使用機器との接続

- ① 当製品に表示されているガスの流れ方向を確認して、吹管のホース接続ねじ部に最大締付トルク以下で緩みなく当製品を接続してください。
- ② 当製品と「6. 仕様」に示す接続可能ソケットを接続してください。

(2) 接続部の漏れ確認

- ① 出口側を閉じた状態で、ガス圧力を使用する圧力まで上げてください。
- ② 各接続部に漏れ検知液を塗布し、ガス漏れがないことを確認してください。
- ③ 漏れが止まらない場合はただちに使用を中止し、弊社に修理を依頼するか新品に交換してください。

4. 逆火時の処置

逆火を発生させた場合は、ただちに使用を中止し、弊社に修理を依頼するか新品に交換してください。また、調整器、吹管、ホース等の溶断器具に逆火後の異常がないか確認し、溶断器具等に異常が認められた場合には、該当の製品の取扱説明書にしたがって適切な処置を行ってください。

5. 保守点検

(1) 作業前点検

作業前に下記箇所に漏れ検知液を塗布しガス漏れがないことを確認してください。

- ① 本体からのガス漏れ
- ② 当製品と吹管またはソケットとの接続部からのガス漏れ

(2) 定期自主点検

少なくとも一年に一回以上、次の手順に従い定期自主点検を行ってください。
定期自主点検に使用するガスは窒素もしくは乾燥空気で行ってください。

① 外観

当製品のねじ部の損傷、本体の変形がないことを確認してください。

② 気密

当製品の出口側を閉じ、入口側から、酸素用は 0.99MPa、燃料ガス用は 0.15MPa の圧力を加え、本体および各接続部に漏れ検知液を塗布しガス漏れがないことを確認してください。

③ 逆流

当製品の出口側から 0.01MPa の圧力を加え、入口側からガス漏れがないことを漏れ検知液で確認してください。

(3) 定期交換

使用開始から 3 年を経過した製品は新品への交換を推奨いたします。器具にはゴム部品等が使用されており、それらが経年劣化すると機能が低下するおそれがあります。

6. 仕 様

品名	N コック Jack		
型式	P2TF	P3TF	
使用ガス	酸素	燃料ガス	
		LPG、LNG、水素	アセチレン
使用圧力	0.02～0.99MPa	0.02～0.15MPa	0.02～0.13MPa
最大流量	10m ³ /h	1m ³ /h(アセチレン換算)	
	(A 号切断器#3 相当)		
入口形状	N コック プラグ形状		
出口形状	M16×1.5 右	M16×1.5 左	
使用温度	-20～80℃		
吹管取付ねじ部 最大締付トルク	11.8N・m		
接続可能ソケット	S2H、S2HS	S3H、S3HS	
製造年月	本体に数字 4 桁で表示 (例:「1801」は 2018 年 1 月に製造)		

7. 修 理

下記の故障が発見された場合には、直ちに弊社で修理を受けてください。

- (1) 逆火させたもの。
- (2) ガスが流れなくなったもの。または圧力損失が大きいもの。
- (3) 接続部の当たり不良、変形および傷ついたもの。
- (4) 本体からガス漏れがあるもの。
- (5) 定期自主点検で不具合があったもの。

8. 廃 棄

製品を廃棄するときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準拠し、排出業者（お客様）の責任において、必ず、産業廃棄物処理業の許可を有する事業者へ委託して産業廃棄物の処理を行ってください。

9. 連絡先

弊社サービス店または下記にご連絡ください。

事業所	郵便番号	住所	電話番号	FAX 番号
制御機器事業部	387-0018	長野県千曲市 大字新田 823	026 (272) 6964	026 (272) 2885